

平成 2 3 年度

佐賀市上下水道事業統計年報

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

佐賀市上下水道局

はじめに

この年報は、佐賀市上下水道事業の運営状況を明らかにするため、統計資料を収集し、掲載しております。

資料は、原則として平成23年度の決算値（平成24年3月31日現在）としました。

なお、上水道事業につきましては、平成21年度からの佐賀市簡易水道事業の地方公営企業法適用に伴い、佐賀市水道局に事務が移管されたため、同年度からのデータは上水道事業と簡易水道事業の合算値を記載しております。

また、下水道事業につきましては、平成24年4月の水道事業との事業統合以前の地方公営企業法適用前におけるデータとなっております。

平成24年11月

目 次

	頁
佐賀市の状況	
1 位置と地勢	1
2 市勢	1
第1章. 組織	
1 機 構	1 - 1
2 職 員 配 置 表	1 - 1
3 年 齢 別 職 員 構 成	1 - 2
4 勤続年数別職員構成	1 - 2
5 歴代水道事業管理者	1 - 3
6 事 務 分 掌	1 - 4
第2章. 上水道編	
第1節 事業の概況	
1 事業の沿革	2 - 1
2 年 表	2 - 6
3 事業経過	2 - 13
4 事業の推移	2 - 15
第2節 財務状況	
1 損益計算書	2 - 17
2 貸借対照表	2 - 19
3 収益的収支、資本的収支	2 - 23
4 経営分析及び財務分析	2 - 24
5 1 m ³ 当たりの原価	2 - 26

第3節 施 設

1 施設の所在地一覧	2-27
2 施設位置図	2-29
3 浄水場施設	2-30
4 管種別延長	2-45

第4節 取水・給水統計

1 取水量	2-49
2 給水量	2-51
3 薬品使用量	2-53
4 水質試験成績表	2-55
5 試験室設備一式	2-59
6 電力量及び電力料金月別表	2-60

第5節 給水装置工事・量水器統計

1 給水装置工事施工状況	2-63
2 量水器設置個数、量水器取付・取替・撤去	2-64

第6節 業 務 統 計

1 配水分析	2-65
2 加入金の推移と変遷	2-66
3 用途別使用水量状況	2-68
4 口径別使用水量状況	2-70
5 検針業務状況	2-71
6 水道料金調定及び収入状況	2-72

第7節 資 料

1 水道料金の変遷	2-75
2 佐賀東部水道企業団の協定水量と用水単価の経緯	2-79
3 広報活動	2-80
4 神野浄水場及び神野第2浄水場水処理フロー図	2-82

第3章. 下水道編

第1節 公共下水道事業

1	事業のあゆみ	3-1
2	基本計画と事業計画	3-12
3	整備状況	3-18
4	普及状況	3-19
5	建設事業投資状況	3-22
6	収益的収支と資本的収支状況	3-24
7	汚水処理施設	3-26
8	ポンプ場	3-28
9	管渠の維持管理	3-35
10	水洗便所改造資金融資あっせん状況	3-35
11	下水道使用料	3-36
12	下水道工事促進対策利子補給制度	3-37
13	責任技術者及び排水設備指定工事店制度	3-37
14	受益者負担金	3-38
15	公共下水道維持管理費決算状況	3-40
16	市債に関する調	3-41
17	公共下水道特別会計決算状況	3-42

第2節 雨水事業

1	雨水路整備	3-43
2	水環境整備事業	3-44

第3節 特定環境保全公共下水道事業

1	事業のあゆみ	3-45
2	基本計画と事業計画	3-48
3	整備状況	3-48
4	普及状況	3-49
5	建設事業投資状況	3-49
6	収益的収支と資本的収支状況	3-50
7	汚水処理施設	3-52

	頁
8 ポンプ場	3-55
9 水洗便所改造資金融資あつせん状況	3-56
10 使用料収入状況	3-57
11 市債に関する調	3-57

第4節 農業集落排水事業

1 事業のあゆみ	3-59
2 基本計画と事業計画	3-64
3 整備状況	3-65
4 普及状況	3-66
5 建設事業投資状況	3-67
6 収益的収支と資本的収支状況	3-68
7 汚水処理施設	3-70
8 水洗便所改造資金融資あつせん状況	3-85
9 使用料収入状況	3-86
10 市債に関する調	3-87

第5節 市営浄化槽事業

1 事業概要	3-89
2 事業計画	3-89
3 整備状況	3-90
4 普及状況	3-91
5 建設事業投資状況	3-91
6 収益的収支と資本的収支状況	3-92
7 水洗便所改造資金融資あつせん状況	3-94
8 使用料収入状況	3-94
9 市債に関する調	3-95

佐賀市の状況

1 位置と地勢

佐賀市は、有明海に面した佐賀平野のほぼ中央に位置し、旧鍋島藩35万7千石の城下町で農業を中心として栄え、古くから県政、教育文化及び商工業の中心都市として発展してきました。

平成17年10月1日には諸富町、大和町、富士町及び三瀬村と合併し、脊振山地から有明海へと広がる新たな県都「佐賀市」が誕生し、福岡市と大川市の2箇所福岡県と接することになりました。さらに平成19年10月1日には川副町、東与賀町及び久保田町と合併し、人口237,506人（平成22年国勢調査）、面積431.42平方キロメートルの市となっております。

地形は、北部の脊振山地に位置する山間地帯と南部の有明海に向かって広がる沖積平野で構成されており、嘉瀬川が両地域を結ぶ自然環境に恵まれた地域です。

また、佐賀平野を流れる嘉瀬川、筑後川は有明海へと流れ込み、市南部の中小河川を含む大半は有明海の感潮区域でもあります。

この平野部の地質は軟弱であり、地表より20～25mまでは粘土、シルト、砂質が複雑に変化し重なった互層で形成されています。

2 市勢

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
行政区域面積 (ha)	43,142	43,142	43,142	43,142	43,142	43,142	43,142	年度末現在
行政区域内人口※1 (人)	239,840	239,398	238,164	237,441	237,088	236,344	236,122	年度末現在
行政区域内世帯数 (世帯)	88,606	89,674	90,267	90,851	91,531	92,151	92,998	年度末現在
D I D 面積※2 (ha)	2,576	2,576	2,576	2,576	2,576	2,703	2,703	平成22年国調
D I D 人口 (人)	138,048	138,048	138,048	138,048	138,048	138,858	138,858	平成22年国調
市街化区域面積 (ha)	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	年度末現在

※1 行政区域内人口は、住民基本台帳登録者数に外国人登録者数を加えたものとなっている。

※2 D I D (人口集中地区)とは、国勢調査区を単位地域として、人口密度の高い国勢調査区(人口密度1k㎡当たり4千人以上)が隣接して、人口5千人以上を有する地域をいう。

